

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 10 日

評価対象事業		評価者	市民健康課長 石黒 知美		
健福-42	実施事業	成人健康診査事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	市民健康課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	保険年金課
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	市民の健康と安心づくりの推進	

1 事業の目的

2 平成29年度に実施した事業の概要

対象	健診対象年齢に達した市民	・肺の直接X線撮影を実施した。(16歳～39歳) ・若年期からの生活習慣病予防のため、20歳～38歳の方に検査キットによる健診を実施した。(偶数年齢で隔年実施) ・40歳の方に無料で肝炎検診を実施した。(無料クーポン券検診) ・40歳以上で今まで鎌倉市の肝炎検診を受診していない希望者(無料クーポン券検診に該当しない方)に肝炎検診を実施した。 ・20歳～36歳の方に4歳刻みで、40歳～70歳の方に10歳刻みで歯周病検診を実施した。(問診、口腔内検査)
意図	生活習慣病の予防と重症化の防止、結核の早期発見・治療のため。	
効果	市民1人ひとりが自分の健康状態に留意し、健康を害する生活習慣を改善し、医療費の抑制につなげる。結核を予防し、まん延を防ぐ。	

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		データ区分	30年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	7,104	118,735	当初予算(千円)	125,281			
	国県支出金	3,955	4,848	国県支出金	7,041			
	地方債	0	0	地方債	0			
	その他	0	105,926	その他	103,843			
	一般財源	3,149	7,961	一般財源	14,397			
	人員配置数	1.5	1.1	人員配置数	1.1			
事業経費運営	人件費(千円)	11,639	8,504	人件費(千円)	8,630			
	総事業費(千円)	18,743	127,239	総事業費(千円)	133,911			
	市民1人当りの経費(円)	106	721	市民1人当りの経費(円)	760			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○-1. 負担導入済 ○-2. 適正な受益者負担を導入している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	平成29年度から、高齢者保健事業のうち後期高齢者健診等の健康診査にかかる予算を成人健康診査事業に統合した。そのため、予算が増額しているが、内容としては現状維持である。今後も、市民へ健診の受診機会を提供するため、引き続き、予算要求を行っていく。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	「鎌倉市健康づくり計画」の目標である、市民の健康寿命の延伸、生活習慣病の重症化予防、早期発見・早期治療を推進をするため、引き続き、健診の受診機会を提供していく。また、一人でも多く健診を受診してもらえるように、市民への周知方法等を検討していく。
-------------------	---

平成29年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	「スマホdeドック」を導入後、平成28年度は初めて自己負担金を徴収した。そのため、平成27年度ほどの受診者数は確保できなかった。引き続き、周知方法や対象年齢、自己負担金のあり方等を検討する必要がある。	
課題解決のために行った平成29年度の取組	平成29年度は、スマホdeドックの周知媒体(チラシ)を委託業者と協議し、対象者にわかりやすい内容になるよう作成し、健診案内に同封した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	今後も、受診率の増加に繋がるようスマホdeドックや歯周病検診等の20歳代30歳代の健診も含め、成人健康診査の周知方法や自己負担金のあり方等を引き続き、検討する必要がある。 健診を受診することでポイントを付与するなどICT健康づくり事業と連携しながら、市民が健康づくりに関心を持てるよう推進していく。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	若年層(20歳～39歳)の生活習慣病健診実施の有無							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	逗子市	三浦市	綾瀬市		
他市実績	○	×	×	×	○	×		
	郵送健診				集団健診			

比較事項	若年層(20歳～39歳)の歯周病検診実施の有無							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	逗子市	三浦市	綾瀬市		
他市実績	○	○	×	×	○	×		
	20・24・28・32・36歳	20・25・30・35歳			20歳以上			

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	20代30代の若年層を対象に、生活習慣病健診として、スマホdeドックを導入している。 スマホdeドックとは、郵送で行う在宅健診であり、自分の都合の良い時間等に気軽に検査することができる。若年層に生活習慣病を意識してもらい機会を提供するため、今後も実施していく。また、歯周病検診についても、同様に実施していく。
----------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	スマホdeドック(キット健診)受診率	単位	%	指標の傾向	↘	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
20代30代の若いうちから、生活習慣病予防の意識をもってもらい、健康寿命の延伸を図るため	目標値	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	実績値	5.5	17.7	6.9	4.2		
	達成率	55.0%	177.0%	69.0%	42.0%		

指標の内容	歯周病検診の受診率(40・50・60・70歳)	単位	%	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
受診率が低いため、受診率の向上に努める	目標値	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	実績値	4.9	5.2	5.2	5.2		
	達成率	49.5%	51.6%	51.8%	52.0%		

指標の内容	歯周病検診の受診率(20・24・28・32・36歳)	単位	%	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
受診率が低いため、受診率の向上に努める	目標値	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
	実績値	2.3	2.7	2.0	2.3		
	達成率	46.4%	54.6%	39.8%	46.0%		

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	平成26年度までは、従来のキット健診を使用しており、申し込み方法は郵便局の窓口で支払う方法のみであった。 平成27年度から、スマホdeドックを導入し、申し込みから結果受取までスマホまたはパソコンで行えるようになり、支払い方法もコンビニ払いや電子決済が可能になった。また、広く周知するため、平成27年度は自己負担金なしで実施したことから、受診者が激増した。 平成28年度からは自己負担金を徴収したため、昨年度から受診者数が減少しているが、平成26年度より増加していることから、スマホdeドックに移行した効果はあったと考える。 歯周病検診は、受診率が横ばいであるため、受診率向上の取り組みが必要であると考える。
-----------------------	--